

ワールドマスターズについて

ワールドマスターズは、2年に1度開催されているWSF公認の世界大会です。開催国や年によって内容は少しずつ異なりますが、だいたい以下のような感じで開催されています。今回はじめてワールドマスターズに参加される方が多いと協会から伺っていますので、事前情報としてご参考にしてください。

野田郁子

◆大会について

- 参加者のレベルはクラブプレーヤーから元プロ選手までと様々です。
- 大会期間は1週間で、本戦も各種プレートも、最終日（今年は7/11）に決勝を行います。
- 原則として、1人あたり1日1試合でスケジュールを組んでくれます。ただし人数が少ない年齢グループは試合のない日があったり、反対に人数の多い年齢グループでは、プレートが1日2試合になる場合があります。
- 1人最低3試合できます。棄権すると相手が3試合できなくなる場合があります、プレートでも最後まで試合をするのが原則です。

◆試合の時は

- 試合は定刻に開始します。日本の大会のように時間が早まることはありません（プレーヤー双方が早めることに合意した場合はこの限りではありません）。
- 本戦の場合は、大会側で審判員を配置してくれます。プレートは、自分たちで次の試合の審判とマーカーをやることがあります。
- 大会期間中の練習コートは、試合が早く終わったコートに入り、次の試合までの間の時間を使わせてもらうとよいです。※注意：貴重品はコートの中に置くか、知り合いに預かってもらいます。

◆試合の後は

- 対戦相手とちょっとしたお土産を交換する慣習があります。日本的なものが喜ばれますが、お互い遠征中なので、かさばらなくて軽いものがよいです。
- 試合後は、勝った方が負けた方に飲み物を一杯おごる慣習もあります（絶対ではありません）。大会会場にバーやカフェテリアがあるので、アルコールやソフトドリンクを飲みながら歓談します。英語が話せなくても、片言でもなんでも…気持ちは伝わって

いるみたいです。スカッシュって実は社交的なスポーツなのです。

- 会場では、同じ国の選手の応援をしたり、他の試合を自由に観ることができます。
- 2つの会場間をシャトルバス（観光バス、マイクロバス、バンなど、大会によって大きさはまちまち）が走ります。渋滞で遅れることがあるので、利用する場合は時間に余裕をもっておいたほうがよいです。

◆開会式パーティー

- 開会式のパーティー代は参加費に含まれています。このパーティーはたいてい立食です。服装は、おしゃれをしている人もポロシャツの人もいます。写真はクライストチャーチ大会（2008年）の開会式パーティーの様子です。



開会式パーティー（ニュージーランド・クライストチャーチ大会にて）

◆閉会式ディナー（申し込んだ方のみ）

・閉会式ディナーは着席してお食事、皆さんおしゃれをして参加されます。男性はジャケット着用です。日本から参加されている方々や対戦相手等と親睦を深めることができます。これまでの閉会式パーティでは、メダリストの紹介、生バンドの演奏、ステージで踊る方もいらっしゃいました。



閉会式ディナーでのメダリストの紹介（2010年ドイツ・ケルン大会）



お料理の例（2008年クライストチャーチ大会）

◆最後に

- 大会事務局や地元のスカッシュクラブがイベントを企画してくれることがあります。
- 2012年のバーミンガム大会では、ジェームス=ウィルストロップ vs ソーラ=ゴースルの模範試合があり（無料）、PSAの試合を生で観ることができました。試合後、ジェームスとソーラに握手とサインをしてもらいました。
- ワールドマスターズはリピーターが多く、知り合いが増えてくるとまたさらに楽しくなります。今回は初のアジア地域での開催のため、参加人数が例年より多くなることが予想されています（3月の時点ですでに500人を突破とのこと）。香港でお会いできるのを楽しみにしています。



イギリス・バーミンガム大会（2012年）での模範試合

以上